

調査へのご協力をお願い

『精神科身体合併症患者の離床に対する当院看護師の意識調査から見える課題』をテーマに精神科身体合併症病棟の看護師の皆様を対象にアンケート調査を実施したいと考えております。この研究は北海道医療センター病院長の許可を得ています。

看護師の離床に対する意識や考え方を明らかにすることで今後の課題を明確にし、転院調整時に患者のADLが入院前の移動動作（歩行や車椅子乗車など）に近づくよう看護師が離床に対する働きかけができ、患者のQOLの維持につなげていきたいと考えております。

調査項目は主に、離床援助、運動機能の情報収集、離床についてのカンファレンス、精神状態、チューブ類挿入中の患者に対する離床を考えております。

なお、質問紙は研究実施者が個人のロッカーに配布します。質問紙は無記名であり、個人が特定されることはありません。ご協力いただける場合は指定の回収箱に投函いただけますようお願いいたします。アンケート期間最終日に回収致します。回答を頂いた質問紙の投函をもって研究に対するご協力の承諾を得たものとさせていただきますことをご了承ください。

1. 調査目的：4-2病棟看護師の患者の離床に対する意識や考え方を明らかにする
2. 調査対象：北海道医療センター 4-2病棟精神科看護師
3. 調査内容：患者離床に対する看護師の意識

※本調査における離床とは、ベッドから離れて過ごすことを指します

アンケート期間 平成29年1月9日～1月22日

4. 調査協力について：

- ・本調査への協力は自由意志によるものであり強制するものではありません。
- ・本調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。得られた情報については、研究の終了について報告された日から5年経過した日までの期間、鍵付きのロッカーに厳重に保管致します。
- ・アンケート提出後、無記名であるため研究の撤回はできません。
- ・本調査は4-2病棟のケア評価につながるものではありません。
- ・得られたデータは研究目的以外には使用いたしません。

以上のことをお約束いたします。

なお、本調査結果は関連学会などで発表させていただくことをご了承ください。

5. 回答形式：質問紙は全4ページで、回答には約10分を要します。
6. 回答方法：ご回答頂けましたら指定の回収箱まで提出をお願いいたします。

何かご不明な点がございましたら、以下の研究者にお知らせください。

研究実施者：北海道医療センター

4-2病棟看護師 柳谷正人（代表者）、鎌田なぎさ、岡崎克江